

小田原キャンパス同窓生主催 送別会開催報告

令和5年3月11日(日)、2006年の開学以来17年にわたり生理学の教育に携わり、本年3月末日をもってご退職となられる遠藤豊先生と、2006年の開学時に初代理学療法学科学科長にご就任、他キャンパス学科長を歴任の後、2015年に再び小田原キャンパスの学科長を、翌2016年からは学部長をご兼任いただいた黒澤和生先生とのお別れ会を、小田原キャンパス本校舎にて開催いたしました。



送別会は理学療法学科同窓生と作業療法学科同窓生がハイブリット形式で企画し、およそ60名の卒業生、教職員が参加しました。

遠藤先生は、最終講義としてご自身の脳機能、環境生理学等をはじめとした研究や影響を受けた恩師の先生(初代小田原キャンパス学部長 田中富久子先生)との思い出話をとても楽しそうにお話しいただきました。また、講義の最後では、高校時代の修学旅行で、某テレビでインタビューを受けた時の遠藤先生の思い出の動画も流れ、会場内はとても和やかな雰囲気となりました。



また、ご自宅からオンラインでご出席いただいた黒澤先生は、本学の教員になられたときの思い出や、ご自身の今後の展望についてお話しをいただきました。

両先生のお話しが終わった後、遠藤先生には堀口和秀先生からの感謝状と、卓球部OBから記念品が贈呈されました。その後、黒澤先生には、森田正治理学療法学科長からオンライン画面を通して、感謝状が贈呈されました。



会の最後には、対面参加の卒業生と教職員で記念写真をとり、楽しい語らいの中で送別会を終えることができました。

